

第9回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

日時：平成24年10月31日 14:30～16:00

場所：京都府立大学 附属図書館 視聴覚室

講師：渡邊 秀典 教授（東京大学大学院農学生命科学研究科）

演題：天然物合成の面白さー立案から生物活性まで

参加者：学部生、大学院生、教員

参加者数：約50名

東京大学 大学院農学生命科学研究科の渡邊 秀典 教授を講師に迎え第9回鴨叡会・生命分子化学科セミナーを開催した。

講演の内容は、数多くの天然物（spirotenuipesine A, urechitol A, lysidicin A, olean, chamobtusin A, neurymenolide A, moverastin など）の全合成研究であった。まさに神業のような全合成の数々を紹介していただき、参加者一同、たいへん刺激になった。

全合成のそれぞれに画期的な変換反応や合成戦略を取り入れており、その合成経路の立案から実施、そこで生じた問題点や解決法などを丁寧にご紹介いただいた。また、天然物の生合成経路、合成化合物の生物活性や構造活性相関、天然物の構造決定など、有機合成を基盤とした応用研究に関するお話しいただいたので、合成化学者のみならず他分野の研究者にとっても有意義なご講演であった。

